

2021年度 あすなろの家 事業報告

事業推進 状況

令和3年度も2年度同様、コロナにより行動や活動の制限がされることの多い1年だった。そのような中でも「動く」をキーワードとして、「本物のケア」「本物の接遇力」「本物の繋がり」「私たちが」について、やり方を変えて、自分たちがやれることを考え活動した。

本物のケア

R2年度に導入した介護ソフトによるデータ分析を活用しおむつゼロの継続、新しい職員に対しての自立支援の知識を伝えていく仕組みづくり、在宅利用者への展開をポイントとして活動した。

E S Rによる介護技術指導を全体に行う講義と、新たに個別の実技指導を希望者からの予約制として、「この方のこのケアの自信が無い、上手くできない」の解消に繋がるように取り組みを少しだけ変えてみた。自立支援介護の知識習得に関してはS C委員会による自立支援介護の「在宅ケース事例検討」を通した学習会と、会議の中で自立支援介護の基本講座を年間で4本を必須にしていくことで、職員にとって基本知識が復習できると同時に、新しい職員の学習の場の確保へつながった。またインカム、介護ソフトについてもうまく活用できたと感じているが、その蓄積されたデータを活用し、ケアに生かすにはどうしたらよいかという点が今後の課題だと思っている。

本物の接遇力

今まで積み重ねてきたものは当然できているその上で「カッコいい接遇」をもう一年掲げ、見ても聞いていてもカッコいい、魅せる接遇へ中身を育てていくことにポイントを置いて活動した。

☆1委員会中心に「中身もカッコいい接遇」を目指しすすめた。上半期は特養職員にインタビューを行い、イライラしてしまう場面や、その状況をどのように自分の中で対処しているのか等を聞き取り、自分たちの対応について見直しと意見交換をする機会を設けた。下半期はウエルカムコーナー、ウエルカムボードの充実や、笑顔大集合の看板作り等を行い、楽しみながら接遇面を意識させるような取り組みを行った。また、部署ごとで「小さな目標」の中に接遇について入れる部署も増え、全体的には接遇に関する意識は上がってきているように感じている。

本物の繋がり

令和2年度に進めることが出来なかった、「私たちの仕事は高齢者の支援をすることではあるが、地域って高齢者だけが幸せであればいいということでは決してない。高齢者に関わる業務は今まで通りきちんと取り組みながら、地域の抱えている課題に対して何かできることはないか」について目を向けた。

前年度に引き続き思うような活動はできない中ではあったが、ひかりサロンでのレッツポール体操、カフェすまいる（認知症カフェ）、ケアハウスによるでんでん体操・クラフト教室等、感染予防に気を配りながら、毎月の支援も開催することが出来た。また、職員からアイデアを募り開催に繋がった、「集まらないウォークラリー」を夏、冬2回挑戦することができた。参加者の多さに戸惑いながらも、口々に「久しぶりに楽しかった」「ありがとう」と声をかけていただき、笑顔と元気をたくさん作り出すことができ、職員も久しぶりに充実感、達成感、ワクワク感を感じる事ができた。

私たちが

今まで通り主体性のある職員育成を進めてきたが、「自分たちの職場」「一緒に働く仲間」「あすなろの家で働くこと」についても考え、いろいろな人がいる、それぞれの特性を理解し少しの工夫で皆で笑顔で働くことのできる職場を作っていこうと努力した。年度末になってしまったが、新しい職種である「ライフサポートメイト」を作り、介護職でなければできないこと、その周辺業務を分担することで、それぞれの専門性をもってより充実したケアを提供できる体制を現在構築中である。

どの項目に関しても、まだまだ完成には程遠く課題は山積みではあるが、20年以上かけて作ってきたあすなろの家の力が、予想もしなかった逆境の中、前を向いて冷静に判断をし進んでくることができたそんな1年だったのではないかと思う。

特養は待機者数が以前に比べ減少、淘汰される時代の到来が予想される。デイ、ひかりサロン、ショートは提供内容の工夫、外への情報発信等の努力の結果が出始めているのか？利用率は少しずつ伸びてきている。訪問は人員確保困難が続いており多数の依頼ケースを断っている状況である。人員確保に関しては全体的に厳しく、退職者が出ても補充はできないのが現状。他、光熱費、ガソリン、食材等の高騰による必要経費増、コロナや職員処遇改善についての届け出関係の事務負担増等も対応していかなければならない点は、今後の大きな課題として残った。

• その他の状況

設備

設備整備の状況

ケアハウス居室内LED化工事	2,310,000円
ケアハウス居室エアコン入替工事	467,500円
大型洗濯機入替工事	1,860,980円
厨房機器入替工事（スチームコンベクション）	1,243,000円
車椅子入替（15台）	435,000円
介護ベッド入替（5台）	1,559,250円
	（内補助金775,000円）

人材

退職	R3.5.20	特養ケアワーカー（時間給）	採用	R3.8.16	特養看護師（正規）
	R3.6.30	特養看護師（正規）		R3.9.14	ひかりクルー（時間給）
	R3.6.30	特養介護補助職員（時間給）		R3.6.22	特養介護補助職員（時間給）
	R3.7.21	ひかり理学療法士（時間給）		R3.12.1	ひかりクルー（時間給）
	R3.8.31	特養介護補助職員（時間給）		R4.1.18	特養介護補助職員（時間給）
	R4.1.3	夜間管理人（時間給）		R4.1.25	特養介護補助職員（時間給）
	R4.1.31	特養ケアワーカー（正規）		R4.1.30	夜間管理人（時間給）
	R4.2.26	デイケアワーカー（時間給）		R4.2.1	特養介護補助職員（時間給）
	R4.3.31	特養ケアワーカー（正規）		R4.2.9	特養介護補助職員（時間給）
				R4.3.8	特養介護補助職員（時間給）

防災

実施訓練

4月	防災委員	防災備品内容確認	10月	特養4グループ	地震 火災 通報 避難訓練
5月	防災委員	防災備品内容確認	11月	特養5グループ	地震 火災 通報 避難訓練
6月	ケアハウス	非常食炊き出し訓練 消化器使用方法	12月	デイサービス	地震 火災 通報 避難訓練
7月	特養1グループ	地震 火災 通報 避難訓練	1月	ケアハウス	地震 火災 通報 避難訓練
8月			2月		
9月	特養2・3グループ	地震 火災 通報 避難訓練	3月		非常食入替実施

利用率

	今期目標数値	令和3.4/1～令和4.3/31実績
特 養 (定員50人)	99%以上 (空床174日)	98.6% (空床254日)
ショート (定員20人)	95%以上 (19名/日以上)	91.18% (18.24人/日)
デ イ (定員35人)	85%以上 (30名/日以上)	68.78% (24.07人/日)
ヘルパー	30人/日以上訪問	16.63人/日
ケアマネ	36人/ケアマネ1人	39.2人/ケアマネ1人
ケアハウス (定員30人)	100% (空床0日)	93.33% (空床730日)
ひかりサロン (定員24人)	80%以上 (19.2名/日)	34.78% (8.35人/日)

以上